

# 北陸と世界をつないで30年

# JICA北陸's World

## in 能登

## 高校生が参加した 秋田からよう来たね〜！ 国際協力の現場取材ツアー

SDGs普及啓発のための動画コンテスト「第3回SDGsクリエイティブアワード」でJICA特別賞を受賞した高校生が、副賞として「国際協力の現場取材ツアーin能登」に参加。  
4泊5日で、能登とフィリピン国イフガオ地域の世界農業遺産をつなぐJICA北陸の人材育成プロジェクト<sup>※1</sup>を取材してくれました！  
自然や伝統を守る人たちのたゆまぬ努力や挑戦を知り、イフガオや地元秋田との共通課題「人口流出と担い手不足」について思いを馳せた高校生。これから取材内容をまとめた動画を作り、夏にJICA広報部のYouTubeで公開します。どうぞお楽しみに！



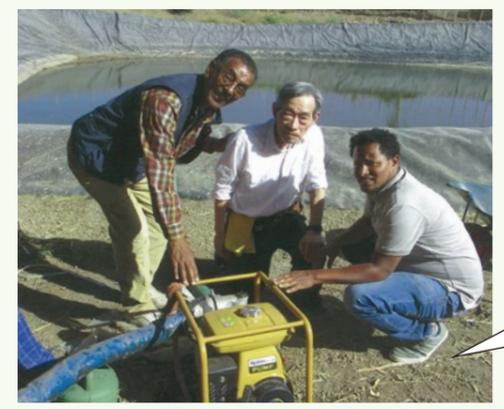
JICA米山所長も白米千枚田をバックにインタビュー撮影

JICAが協力したイフガオ大学学長に英語インタビュー

地元メディアの逆取材も！石川テレビ・北陸朝日放送・北国新聞からインタビュー

泉谷珠洲市長(左)&中村浩二金沢大学名誉教授(右)とパチリ

## 草の根事業 「エチオピアの里山復元事業」が終了しました！



エチオピア国の政情不安やCOVID-19の影響で、度重なる計画変更を強いられましたが、粘り強く取り組み、在来種の植樹35haを達成されました。

現地調整員 水野 昭憲さん(写真中央)

ため池はハイエナや大雨のため破損が続き苦勞が絶えなかったが、ため池、苗畑、里山林の維持管理を担う若者グループが結成されたことは大きな成果。本事業をきっかけに村人たちが自然環境への意識を高め、自ら里山の復元に取り組んでくれることを願っています。

造成したため池の前で現地スタッフとともにポンプアップ作業。

11	住み続けられるまちづくりを	13	気候変動に具体的な対策を	15	陸の豊かさも守ろう
事業名	在来種による植林と環境教育を通じた住民組織による里山復元事業(草の根技術協力)				
団体	特定非営利法人 世界の砂漠を緑で包む会(会長 大澤 俊夫)				
事業期間	2015年~2021年				
活動	①住民グループづくり ②ため池づくり ③苗畑づくり ④植樹 ⑤環境教育				

## 国際協力 中学生・高校生エッセイコンテスト 2022

募集テーマ / **世界とつながる私たち** ~未来のための小さな一歩~  
応募期間 2022年6月7日(火) から 9月11日(日) まで

これであなたの想いが伝わる! 「エッセイ書き方ガイド」を使って早速書いてみよう!

国際理解教育などの授業のまとめにも!

詳細・ガイドのダウンロードはこちら

## (株)日刊県民福井 × エッセイコンテスト

同エッセイコンテストの協力団体である(株)日刊県民福井では、副賞として紙面へコラム掲載の機会を贈呈しています。今年度は個人賞や学校賞の入賞者の中から全12回(毎月1回)のコラム掲載を予定しています。読み手の心に響く、まっすぐな10代の「声」をご一読ください(紙面掲載のみ)。

福井県入賞者によるVOICE(コラム)が4月より掲載開始!

### 文章の達人、新聞記者さんに聞く 執筆のコツ!!

自分の考え方が論理的かどうかは文章にしてみれば分かります。文章にできない考えはイメージであり、それを他人が理解するのは難しいですね。文章は自分の論理的な考えをどう披露するのかという「プレゼンの技術」でもあります。「立派な主張」もプレゼンが下手では誰も耳を貸してはくれません。新聞や本などいろいろな書物をたくさん読み、それらを参考に文章をたくさん書いてみましょう。文章は必ず家族や友人に読んでもらい、周囲の意見を素直に聞き入れ、文章を書き直すのです。そうすればあなたもコンテスト入賞者のような文章が書けるようになります。新聞記事も多くの人の手直しが入っています。文章を書くのに記者も生徒も大きな違いはありませんよ。

株式会社 日刊県民福井編集局 報道部長 兼 ニュースセンター長 藤井 雄次 記者

## 米山所長から JICA北陸30周年!

ロゴとキャッチフレーズを作りました

JICA北陸は、1992年10月1日にJICA北陸支部として設立、今年の10月でついに30周年を迎えます。この度、30周年を記念して、キャッチフレーズとロゴを作りました。JICA北陸は、これからも、北陸と世界が信頼につながっていくよう努めていきます。来号は30周年記念特集号です。どうぞお楽しみに!

北陸と世界をつないで30年

30周年ロゴ キャッチフレーズ

## JICA北陸 新任スタッフ紹介

-NEW STAFF-

1年ぶりにJICA北陸へ帰ってきました!研修員受入、開発教育支援、民間連携、総務の支援スタッフとして多岐にわたる業務に携わっております。自分にできることを精一杯行い、様々な面から国際協力のサポートをしていけたらと思います。どうぞよろしくお願いたします(^^)♪

よろしくお願いたします!

松田 唯 さん

※1 JICA草の根技術協力事業「世界農業遺産(GIAHS)「イフガオの棚田」と「能登の里山里海」の持続的発展のための地域連携構築事業」(2017年6月~2021年1月)